

応じた事前落水の可能水量を把握するため、補正において調査委託費を計上しています。

内水対策の更なる充実に向けて、中島地区への排水機場新設及び高良川の治水対策については、ポンプの増強を含めて国及び県へ引き続き要望を続けていきます。

総務課長 ③年額報酬について

支援団員を55200円から36500円、団員を13600円から36500円、班長を27300円から41500円、副部長を36800円から46500円と増額を図っています。団員の費用弁償は出勤時間にかかわらず、1回につき9000円を支払っていましたが、今回、費用弁償を出勤報酬に改め、1日8000円を限度に、出勤時間2時間までを2000円、2時間を越え4時間までを4000円、4時間を越える場合は8000円を支払うこととしています。

平成29年の道路交通法改

正による準中型免許創設による消防車運転の影響については、オートマチック限定免許取得者の件を含め、消防団と共通の認識を有していますが、現段階では特に要望などはあっていません。今後車両の更新等に併せて検討を進めていきたいと思っています。

豪雨災害対策について

三谷 英史

議員 ①中島9班地区の内水対策について。

現場樋管の排水ポンプの新設について、現時点での実現可能性とその時期についてどのような感触を持っているか。今後も排水ポンプ新設のみの要望でいくのか。

②下大町排水ポンプ場の施設整備について。

町長 ①中島地区への排水機の新設を国土交通省など関係官庁に要望をしています。

基本的には、国は外水対策を主に取り組む、となっているので、懸念されるのは分かりませんが、いろいろ

と相談や指導を願っているので、引き続き、強く要望していきたいと思っています。

加えて、ポンプの新設を含めて、現実的な対策を考えていかねばならないと思いますので、関係者と議論を進めて参ります。

②下大町排水ポンプ場は、緊急に対応できるようにシャッター部分に約50cmのパネル式止水板を設置し、またドアの部分にゴムパッキン等を設置するなど、万が一の場合に対応できるように改善しています。

操作員の早期避難体制を確保するため、避難用ボート及びライフジャケットを配備しています。

当施設の老朽化が進んでいたため、施設の劣化状況等を調べる機能診断を令和2年度に行いました。当該機能診断結果に基づきポンプ設備、ゲート設備の整備工事を県営事業により令和5年度から7年度の3カ年で実施する予定にしています。



▲整備工事が進められる下大町排水機場

空き家対策について

議員 空き家対策の一環として、住宅密集地域に緊急車両が通行可能な道路を整備するという目的で、町が主体的に解体を進めていくという手法を考えているが、町長の見解は。

町長 今年度から補助制度を大幅に見直すことによつて、所有者等の負担を軽減

すること、危険な空き家がそのまま放置されないよう自主的な除却を推進していきたいと考えています。

町内には、老朽化した空き家が散在しており、旧炭鉱住宅地も含めて、同じような地区はたくさん点在しています。

公平、公正という観点から、一部の利益にならないようにしていくためには、現実的に「どこを特定地域」として、指定するか。それとも、すべての地区に及ぶのか、指定されなかった地区の意向はどうなのか、納得されるのか、いずれにしても、町民のコンセンサスが必要になり、とても難しい判断が迫られ、財源を含めて決断していかなければならない事案だと思っています。また、社会資本整備総合交付金の制度見直しがあり、今年度から町が今まで寄付をいただいていた除却については不良住宅の除却については国庫補助の対象外となりました。